

(9) 長岡都市圏の課題

長岡都市圏のケーススタディでは、主に以下の課題を把握した。

降雪時には中山間地域を中心として高次救急医療施設への到達圏が縮小することから、暮らしの安全を確保するためにも、救急医療施設へのアクセス改善が必要。

中越地震の影響による一人当たり市町村所得の低下が見られることから、地域の活力を牽引する基幹産業（製造業）の回復・成長が必要。

人材育成と就業の連携による若者の流出抑制と定着が必要。

人口の郊外拡散、郊外型大規模店舗の出店等により中心市街地の活力が低下している状況の改善が必要。

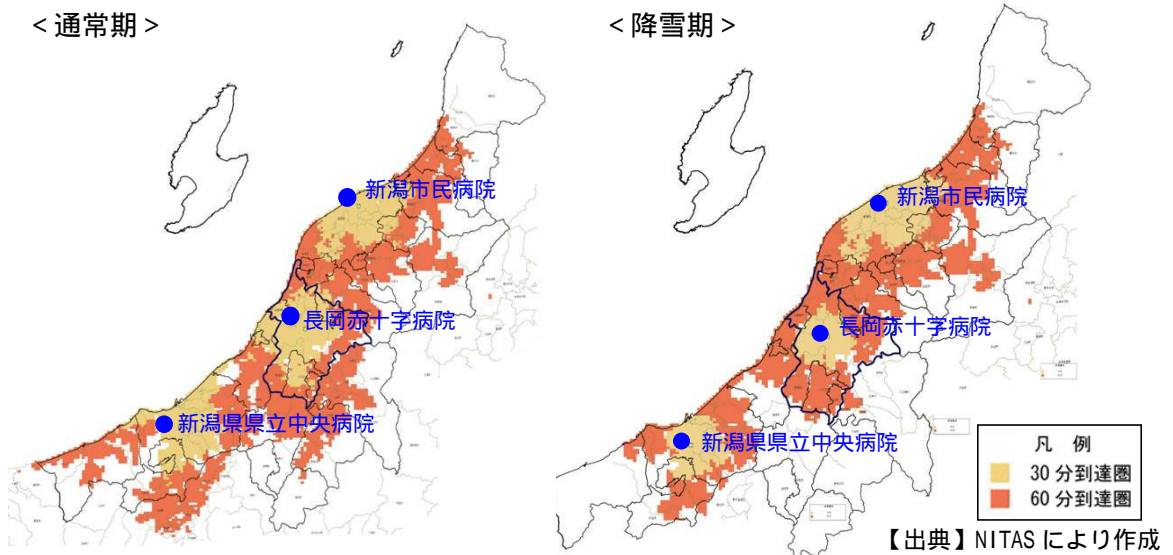
生活における自動車依存度が高いが、高齢社会を見据えて、公共交通の充実が必要。

豪雪地帯であり、中山間地域においては、存続が危ぶまれる集落が多く存在し、集落機能の維持や安全性の確保等が求められている。

1) 医療

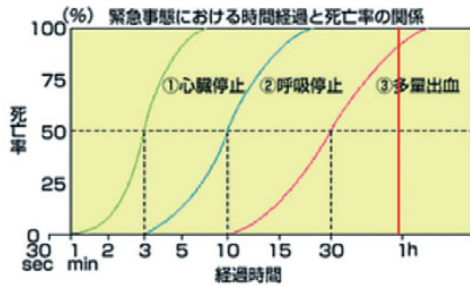
降雪期の高次救急医療機関のカバー人口の改善

高次医療施設到達圏は降雪により大幅に減少し、隣接の医療施設へも 60 分で到達できなくなる区域が発生するなど救急医療への不安な区域が展開している。救急患者の搬送に関しては、小千谷市、三条市、燕市・弥彦村からの搬送も多く、救急患者の生命の維持が難しい。特に、冬季には搬送に時間を要することから、救急患者の救命率は一段と低くなる。



設定速度			
通常時に対して以下の低減率を適用			
高速道路	45.2%	(設定速度) 高速自動車道 法定速度×100% 都市高速道路 法定速度×110% 一般有料道路 法定速度×110% 一般国道 法定速度×100%	主要県道 法定速度×100%
一般道	26.9%		主要市道 法定速度×100%
			一般県道 法定速度×100%
			一般市道 法定速度×100%
「新潟県における冬期の旅行速度低下状況」における高速道路の路面状況「圧雪」時の低減率により旅行速度を低減 (原資料:「平成2年度 道路交通センサス」北陸地方建設局、「平成2年度 新潟県冬期道路交通」)			

図 5-53 第三次救急医療機関への到達圏



カーラーの救命曲線
 60分以内に治療を受けられた場合、多量出血でも命が助かる可能性がある。さらに、30分以内に手当がされれば、多量出血の死亡率は50%に低下する。医療施設に少しでも早く到着することが、救命率を高め、より多くの人命を守ることにつながる。

【出典】北陸地方整備局「社会資本整備に係わる北陸地方の将来の姿」

(M.Cara: 1981,「カーラーの曲線」)一部改変

図 5-54 緊急事態における時間経過と死亡率の関係

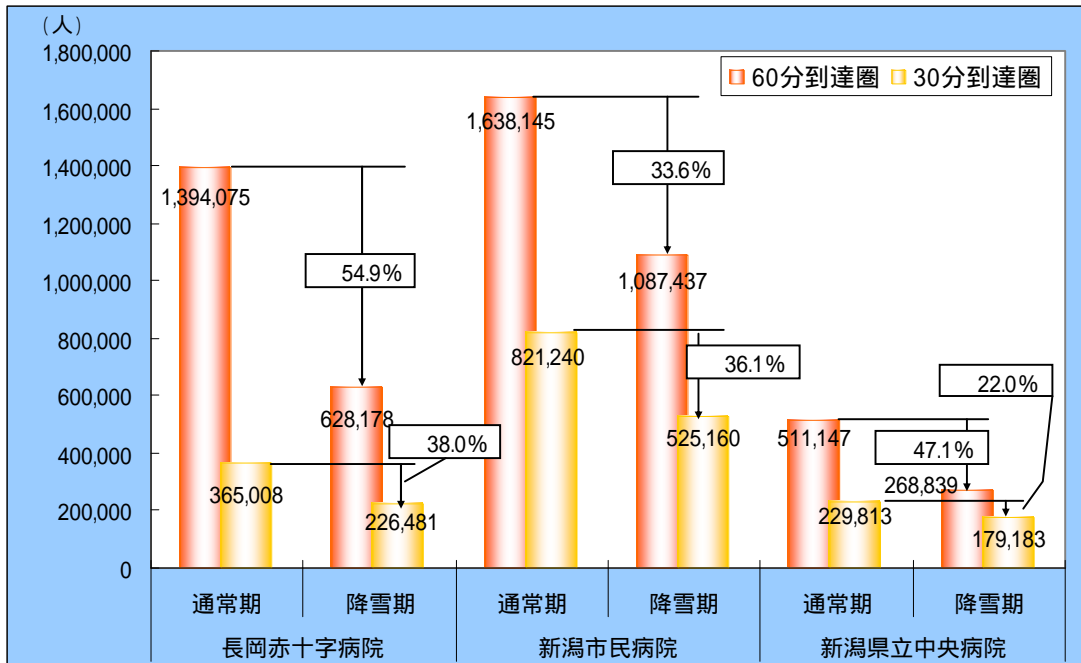
表 5-7 緊急事態における時間経過と死亡率の関係

第一次救急医療機関	外来診療によって救急患者の医療を担当する医療機関であり、救急医療に係わることを表明する医療機関（救急外来あり）
第二次救急医療機関	入院治療を必要とする重症救急患者の医療を担当する医療機関とし、次の基準を満たすものとする。 (1) 救急医療について相当の知識および経験を有する医師が常時診療に従事していること。 (2) エックス線装置、心電計、輸血および輸液などのための設備、その他救急医療を行うために必要な施設及び設備を有すること。 (3) 救急医療を要する傷病者のために優先的に使用される病床または専用病床を有すること。 (4) 救急隊による傷病者の搬送に容易な場所に所在し、かつ、傷病者の搬入に適した構造設備を有すること。
第三次救急医療機関（救急救命センター）	第二次救急医療機関では対応できない複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者に対し、高度な医療を総合的に提供する医療機関とし、その要件は次のとおりとする。 (1) 重篤な救急患者を、常時重篤な患者に対し高度な治療が可能なこと。 (2) ICU、CCU等を備え、常時、重篤な患者に対し高度な治療が可能なこと。 (3) 医療従事者（医師、看護婦、救急救命士等）に対し、必要な研修を行う体制を有すること。

【出典】厚生労働省 HP

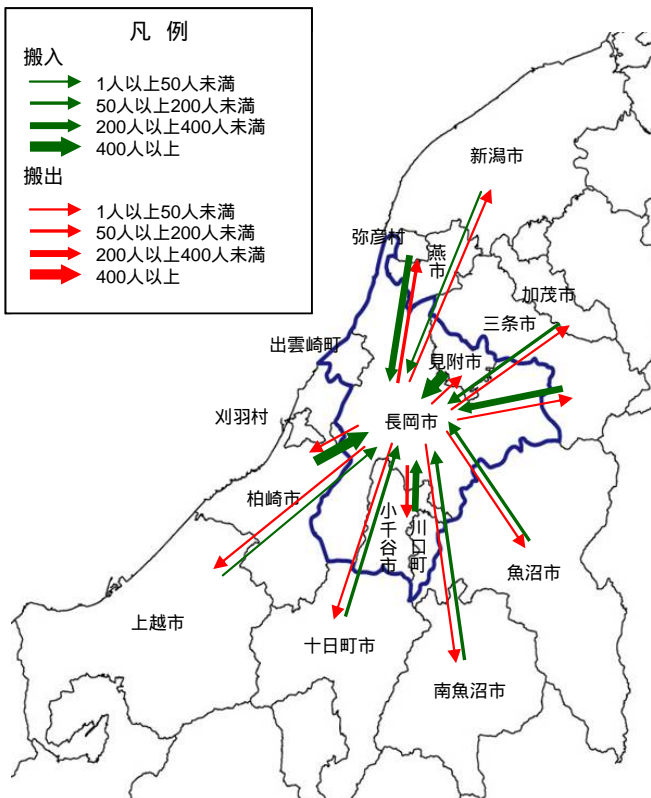
降雪期でも安心して暮らせる基盤の確保

長岡都市圏の降雪期における第三次救急医療機関への到達圏人口は、通常期に対して30分到達圏で約4割、60分圏では約6割が圏外となり、新潟圏や上越圏に比べて降雪期に不利な地域にも多くの生活者が暮らしており、冬季の雪に左右されない救急医療圏の確保が必要。



【出典】NITASによる集計結果に基づき作成

図 5-55 第三次救急医療機関到達圏人口の減少



【出典】平成 18 年度新潟県防災局消防課調べ（平成 17 年度中）

図 5-56 救急患者の管外搬送の状況



【出典】(財)雪センター-HP

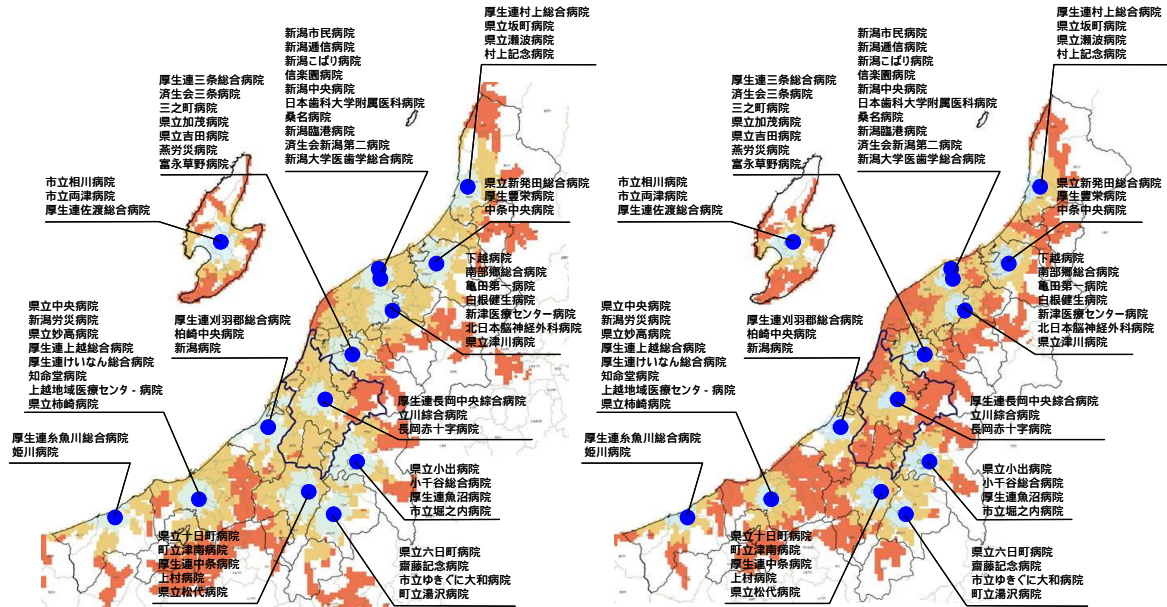
図 5-57 救急搬送への影響

第二次救急医療機関へのアクセス時間の短縮及び安定性の確保

長岡都市圏の第二次救急医療への時間到達圏では、中山間地域の一部で 30 分を超える区域が存在するため、医療圏を拡大する必要あり。

< 通常期 >

< 降雪期 >



	15分到達圏	30分到達圏	60分到達圏
人口	130,1058人	2,315,628人	2,713,127人

凡例
15分到達圏
30分到達圏
60分到達圏

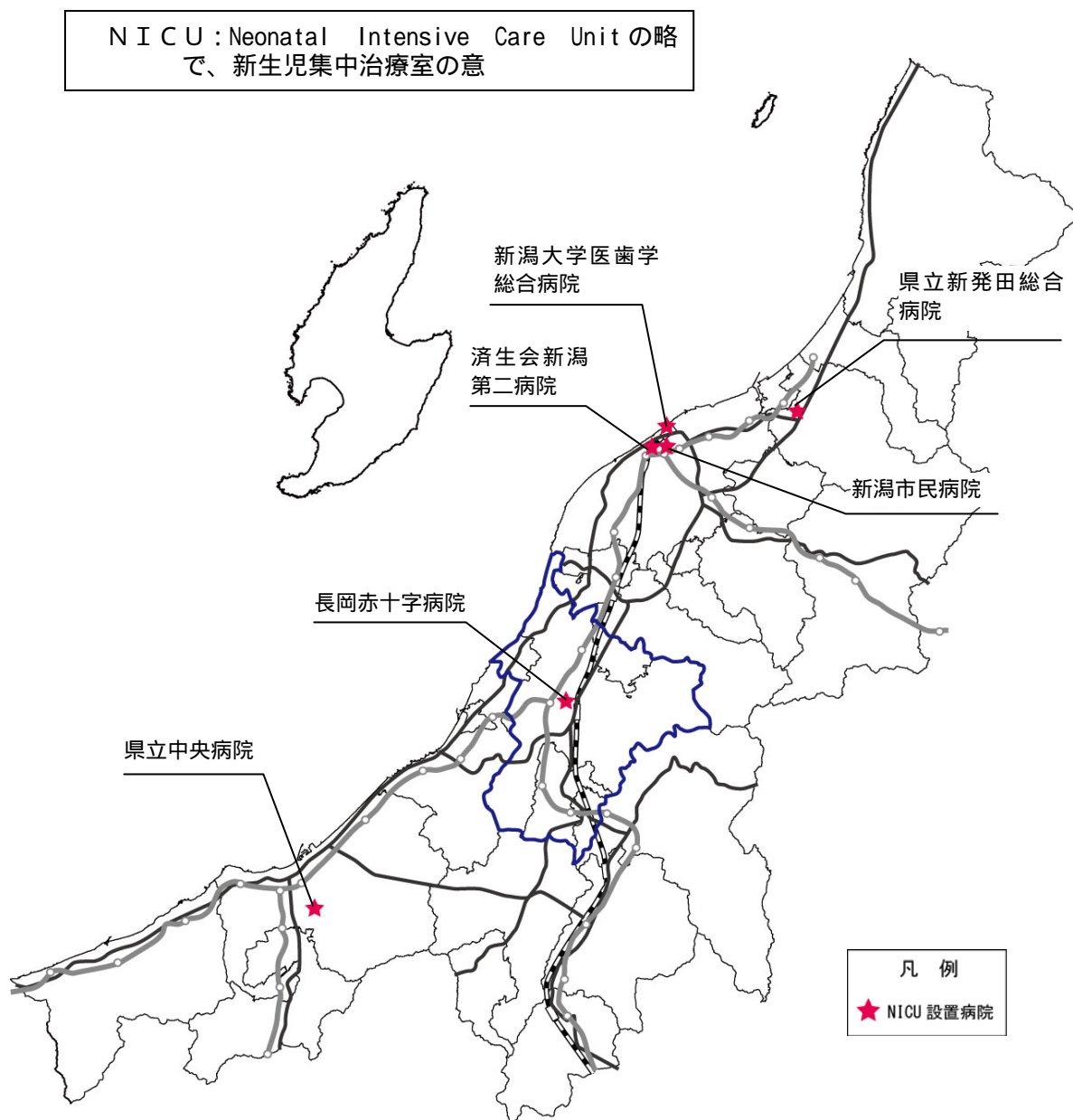
	15分到達圏	30分到達圏	60分到達圏
人口	858,488人 (34%減)	1,917,625人 (17.2%減)	2,424,512人 (10.6%減)

【出典】NITAS により作成

図 5-58 交通状況による第二次医療機関到達圏の減少

周産期医療体制の強化

合計特殊出生率の高い一方で、見附市、出雲崎町、川口町には産婦人科医が無く、NICUを持つ長岡赤十字病院が地域の周産期医療を支えている状況にある。



【出典】第4次新潟県地域保健医療計画をもとに作成

図 5-59 産婦人科及びNICU配置状況

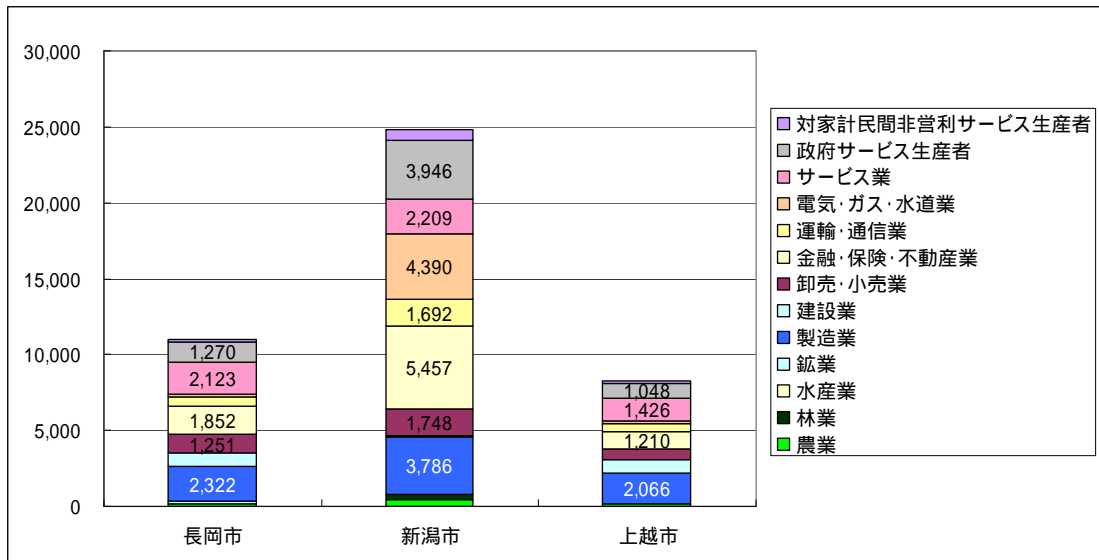
2) 職

中規模の都市圏の中心機能を維持しつつ、地域を支える基幹産業の育成

長岡市の産業別生産額は、顕著な偏りは見られず、全体的にはバランスのとれた産業構成となっている。

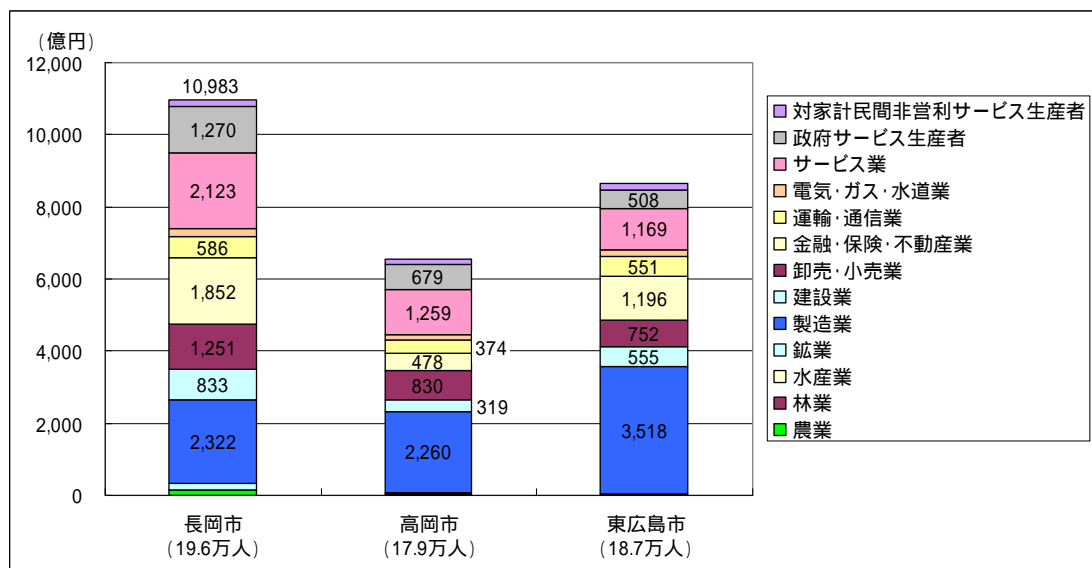
新潟市とは都市規模も大きく異なるが、電気・ガス・水道業や金融・保険・不動産などの広域的サービス業の生産額が異なり、新潟市に比べて三次産業での差異が大きい。

一方、比較的人口規模が類似した都市との比較では、サービス業や金融・保険・不動産業の生産額が多く、人口規模にあてて、サービス機能が充実しており、広域での拠点的功能が見られる。



【出典】新潟県市町村民経済計算

図 5-60 県下都市の産業別総生産額（平成 16 年）

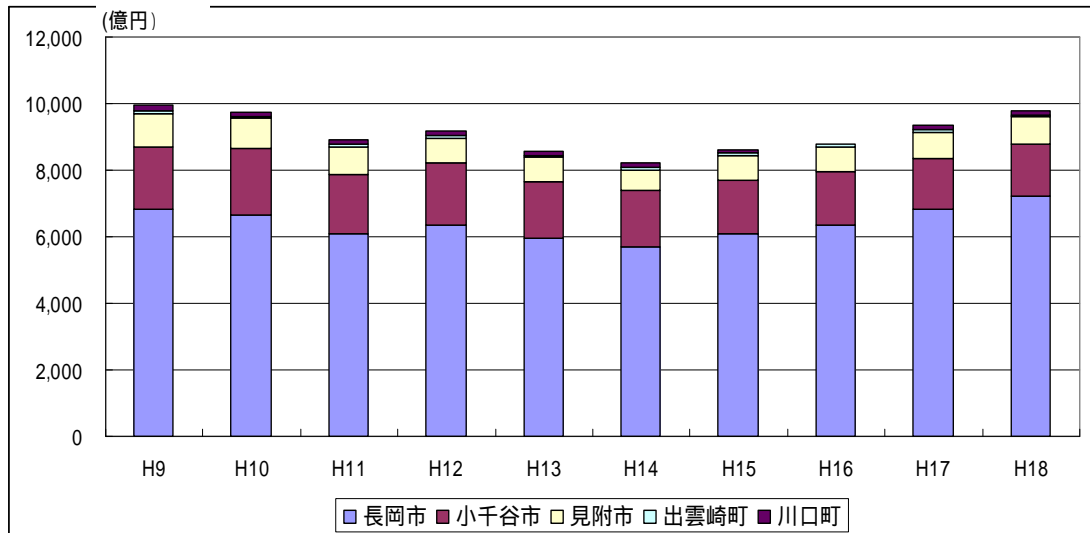


【出典】新潟県市町村民経済計算、富山県市町村民経済計算、広島県市町村民経済計算

図 5-61 人口規模類都市の産業別総生産額（平成 16 年）

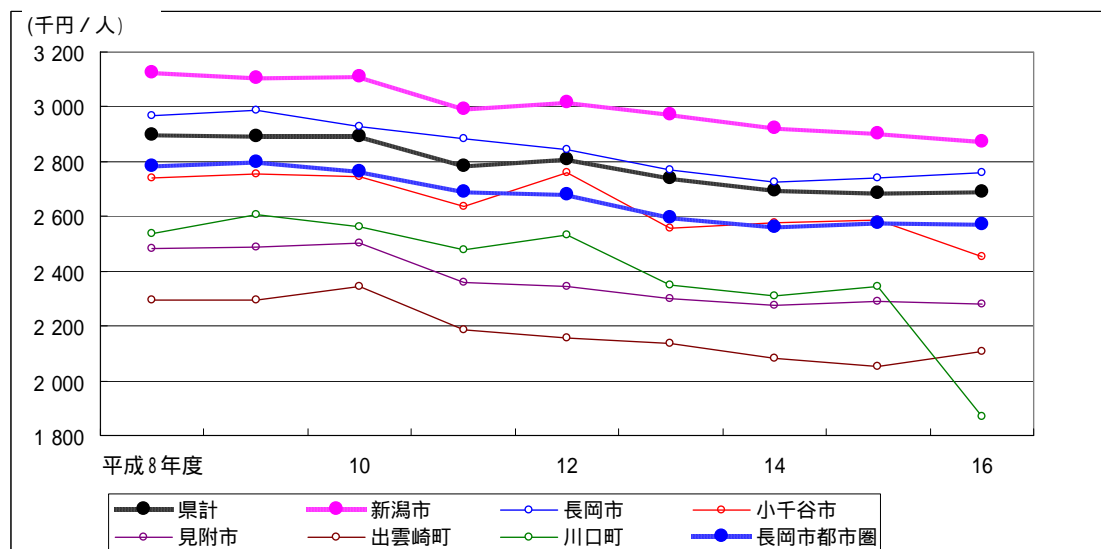
成長する製造業と低迷する農業、一人当たり市町村民所得の低下

製造品出荷額等は、平成 14 年以降は増加傾向を示し、長岡市を中心に製造業が充実している。農業生産額は中越地震の影響により、平成 16 年に減少して以来、従前までの回復に至っておらず、周辺地域での地域産業の衰退が顕著となっている。一人当たり市町村民所得は新潟県平均よりも低く、さらに、平成 8 年の 280 万円 / 人から平成 16 年には 260 万円 / 人と低下した。



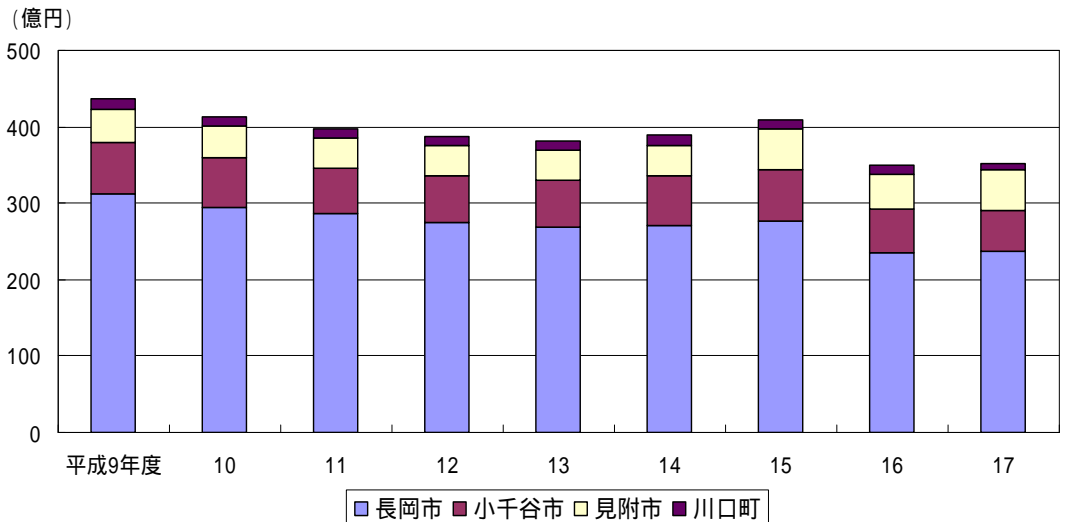
【出典】工業統計

図 5-62 製造品出荷額の推移



【出典】新潟県統計年鑑

図 5-63 一人あたり市町村民所得の推移

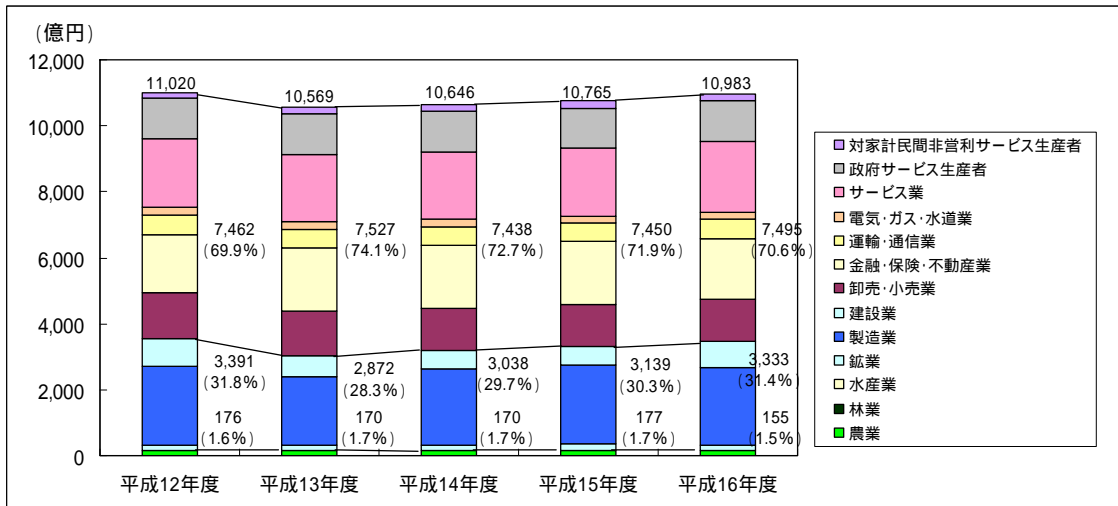


【出典】新潟県統計年鑑

図 5-64 農業生産額の推移

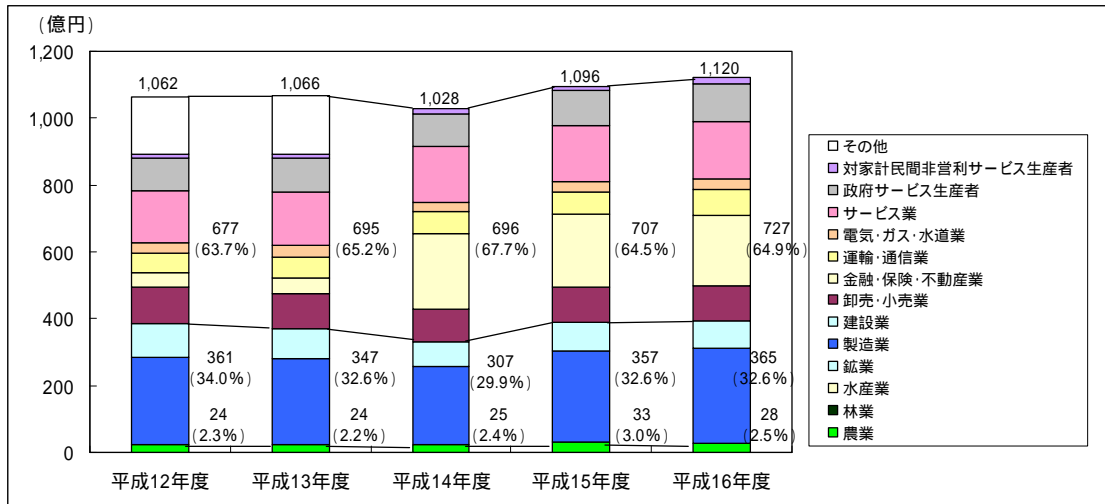
都市圏の持続的な発展・成長のためには、先進性のある製造業を基幹とした牽引が必要

圏域内には日本を代表する世界一、日本一のシェアを誇るニッチトップ企業や、ハイテクを活かして新たな展開を図る企業があり、これら企業の成長が長岡市の財政を下支えしている。一方、圏域では 20 代の就職による転出超過が顕著となっており、高齢化と相まって、地域の活力は低下している。



【出典】新潟県統計年鑑

図 5-65 長岡市市内総生産の推移



【出典】見附市「2008 とうけい」

図 5-66 見附市市内総生産の推移

表 5-8 長岡市の主な企業

主要なサービス業（長岡市）	主要な金融業（長岡市）
朝日新聞社長岡支局 (株)長岡新聞社 日本経済新聞社長岡支局 毎日新聞社長岡支局 読売新聞社長岡支局 NHK新潟放送局長岡報道室 NT21新潟テレビ21長岡支社 FMながおか 新潟総合テレビ長岡支社 新潟テレビ21長岡支社 近畿日本ツーリスト(株)/長岡支店 (株)JTB関東/長岡支店 (株)日本旅行長岡支店 長岡ターミナルホテル ホテルアルファワン長岡 アクアレー長岡 など	(株)大光銀行(本店、各支店) (株)第四銀行(各支店) (株)北越銀行(各市店) 大和証券(株)長岡支店 新潟証券(株) など
主要な卸売り・小売業（長岡市）	主要な建設業（長岡市）
イトーヨーカドー丸大長岡店 (株)大和長岡店 (株)新潟伊勢丹長岡ショップ (株)ウオロク(各店) 北長岡ショッピングセンターパルス(各店) ジャスコ長岡店(各店) トヨタ自動車(株)(各店) 新潟スバル自動車(株)(各店) など	セキスイハイム信越(株) 日本道路(株)/長岡出張所 (株)ネクスコ・メンテナンス新潟/長岡事業所 関越舗材(株) 旭ホーム(株) など

表 5-9 長岡市の主な製造業

生産量、生産額など世界トップクラスの企業	
クリーンテクノロジー(株) <長岡市>	液晶カラーフィルター用加熱・冷却(H P/CP)装置の生産高世界一
日本精機(株) <長岡市>	二輪用計器の生産高世界一
ヨネックス(株) <長岡市>	バドミントンラケットのシェア世界一
トッキ(株) <見附市>	世界初、有機ELディスプレイパネル量産装置、非シリコン系次世代薄膜太陽電池パネル量産装置の開発
生産量、生産額など世界トップクラスの企業	
(株)オーエム製作所 <長岡市>	中・大型立旋盤の生産高日本一
TDKラムダ(株) <長岡市>	標準スイッチング電源の国産販売シェア日本一
(株)大原鉄工所 <長岡市>	スキー場のゲレンデ整備車シェア日本一
ユキワ精工(株) <小千谷市>	工業用電動ドリルのドリルチャック生産高日本一
ユニオンツール(株) <長岡市>	調工ドリルの製造日本一
ハイテクで新たな展開を見せる企業	
(株)ツガミ <長岡市>	精密耕作機械技術を生かしたHDDの研磨
北越製紙(株) <長岡市>	特殊シートを活用したICチップの製造



【出典】日本精機(株)HP

図 5-67 モーターサイクル用計器



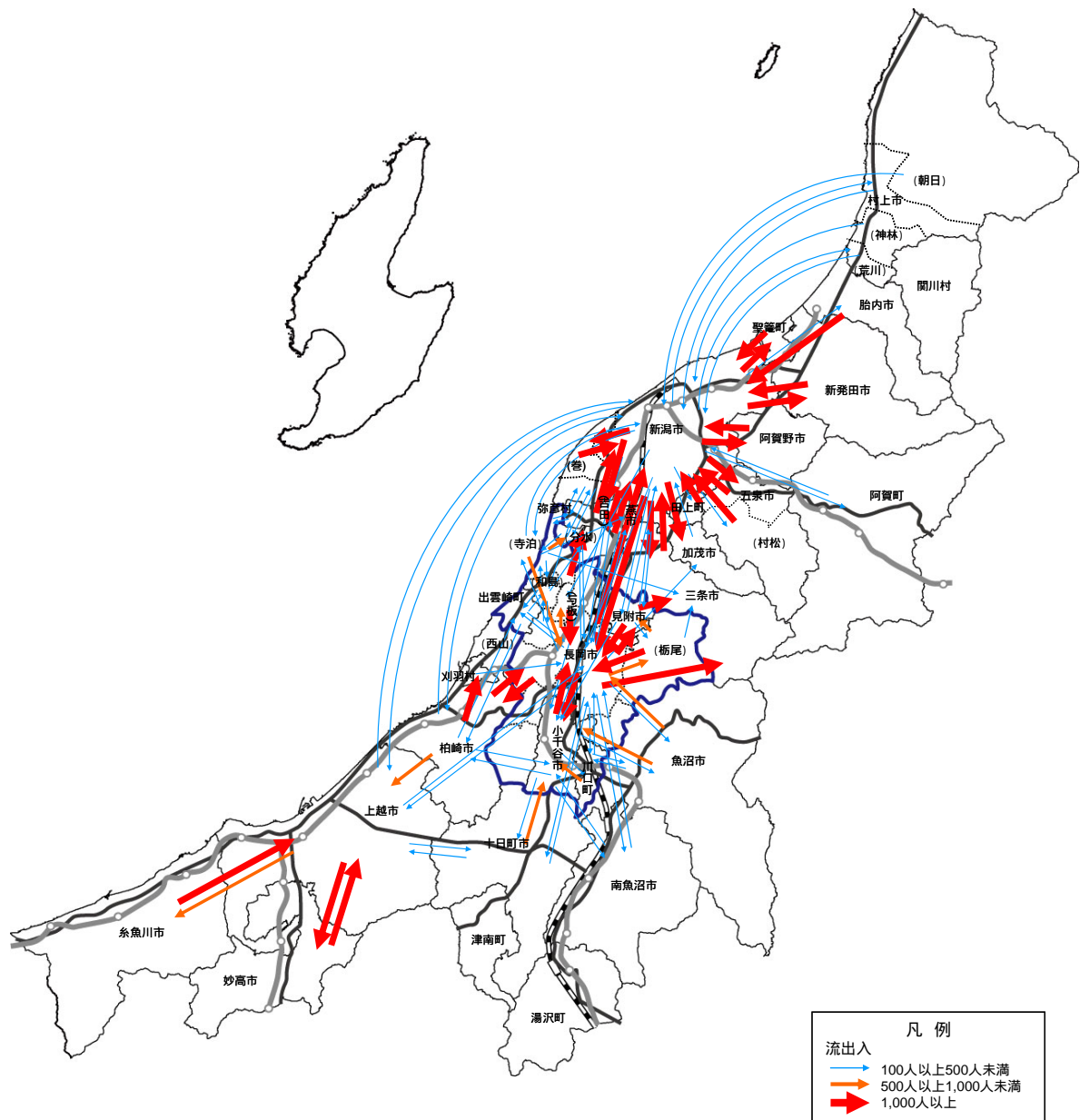
【出典】(株)オーエム製作所HP

図 5-68 CNC立旋盤

県内各圏域が重複した通勤圏

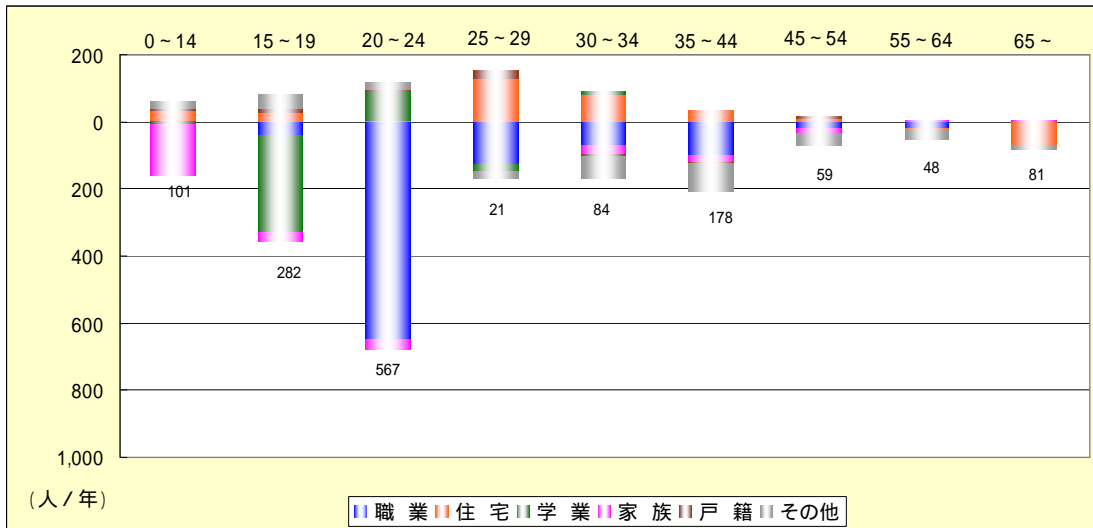
新潟県は広範に通勤圏を形成し、一部長岡市も通勤圏に包含している。長岡市の通勤圏は、柏崎市を含む周辺の市町と強く通勤圏を構成するものの、新潟市の通勤圏と重複した圏域を形成している。

上越市は、比較的西部の市町との通勤圏を構成し、まとまった圏域となっている。



【出典】国勢調査（平成17年）

図 5-69 通勤流動



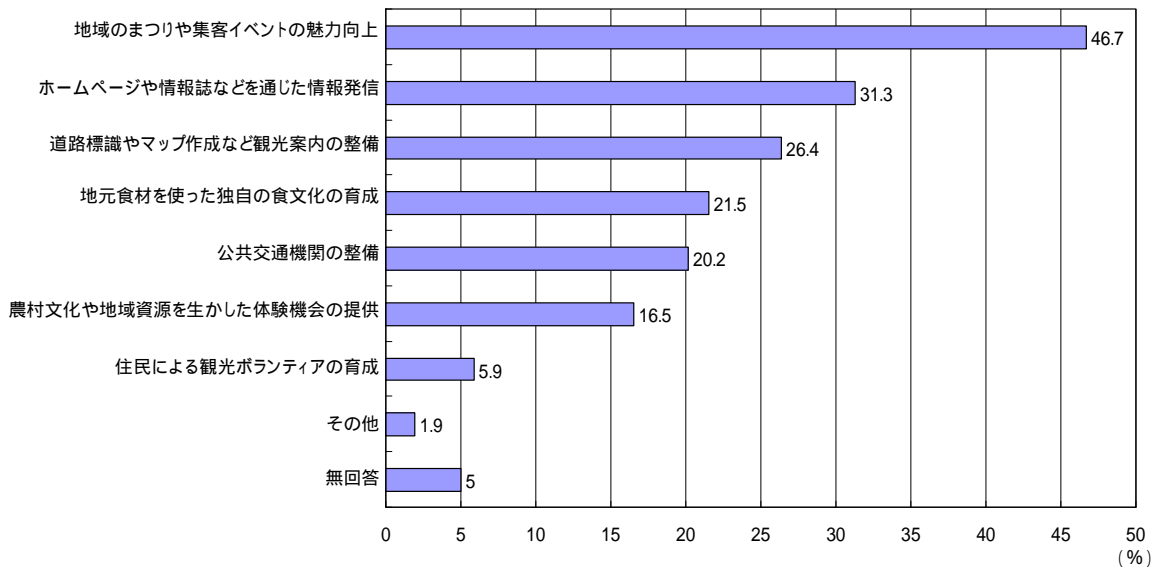
【出典】新潟県人口動態調査

図 5-70 年代別・理由別社会動態（平成 19 年、長岡圏）【再掲】

人財育成、地域の担い手の必要性

地域の産業の魅力を高めていくために必要とされる事項は、工業振興、農林水産業の振興においては、『若い技術者や担い手の育成が重要』とする意見が多く見られ、地域住民の共通認識として、人材育成への関心が高い。

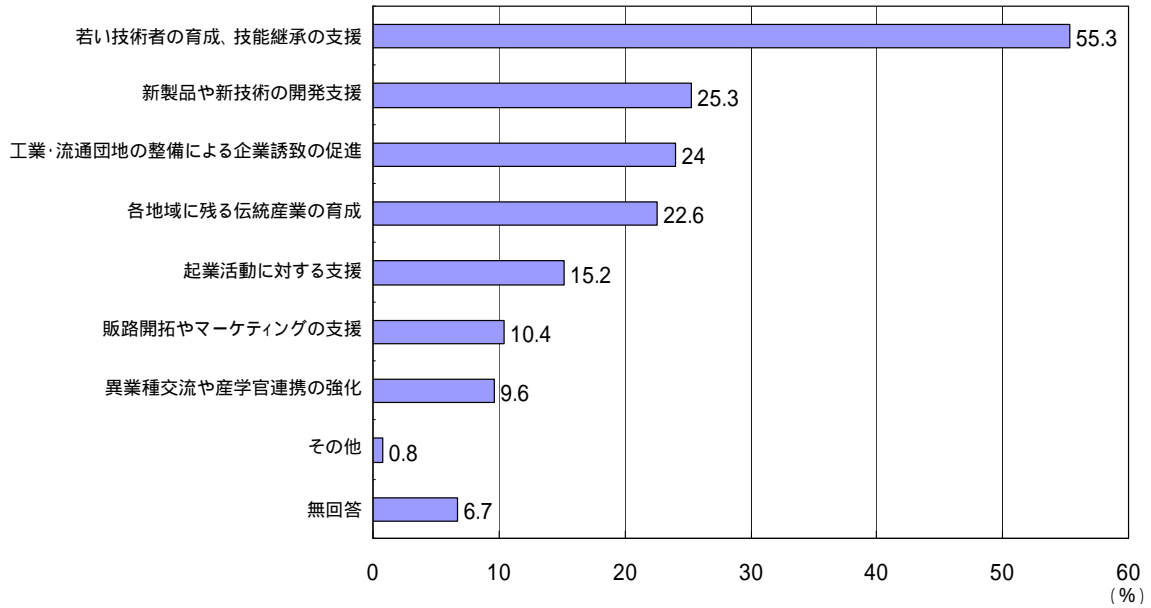
【問 19：観光振興のために、何に力を入れるべきとお考えですか。（ は最大 2 つまで）】



【出典】長岡市 HP「長岡市総合計画策定のためのまちづくりアンケート」

図 5-71 観光振興のために力を入れるべきこと

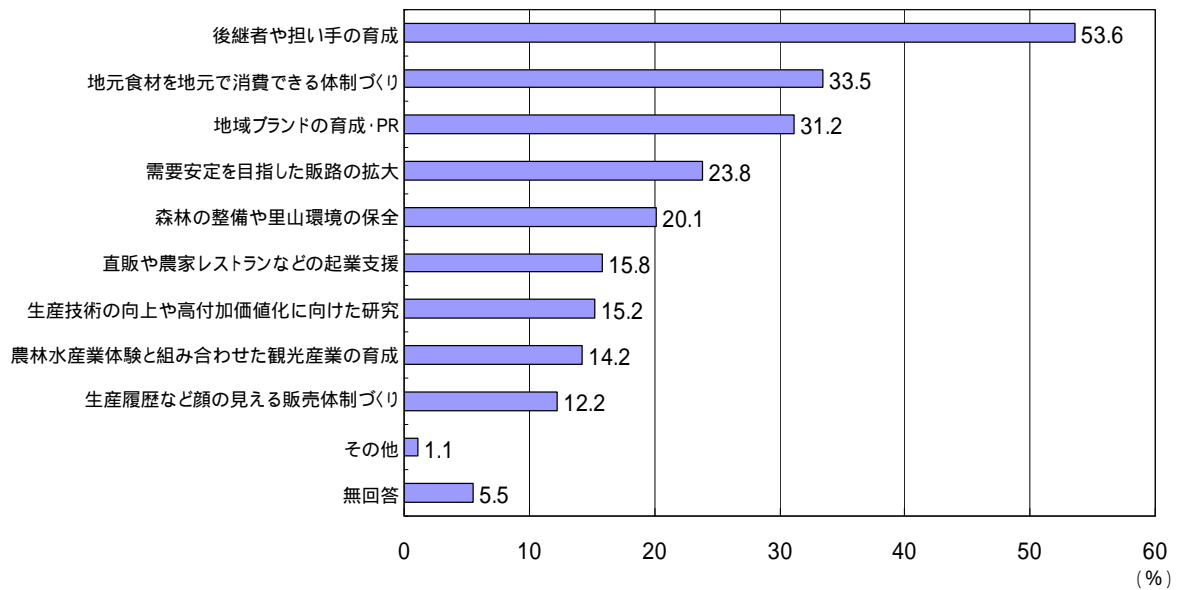
【問 20：工業振興のために、何に力を入れるべきとお考えですか。（ は最大 2 つまで）】



【出典】長岡市 HP「長岡市総合計画策定のためのまちづくりアンケート」

図 5-72 工業振興のために力を入れるべきこと

【問 21：農林水産業の振興のために、何に力を入れるべきとお考えですか。（ は最大 3 つまで）】



【出典】長岡市 HP「長岡市総合計画策定のためのまちづくりアンケート」

図 5-73 農林水産業振興のために力を入れるべきこと